

静岡県の水産職のしごと



県知事

県庁



水産・海洋技術研究所 (本所)



浜名湖分場

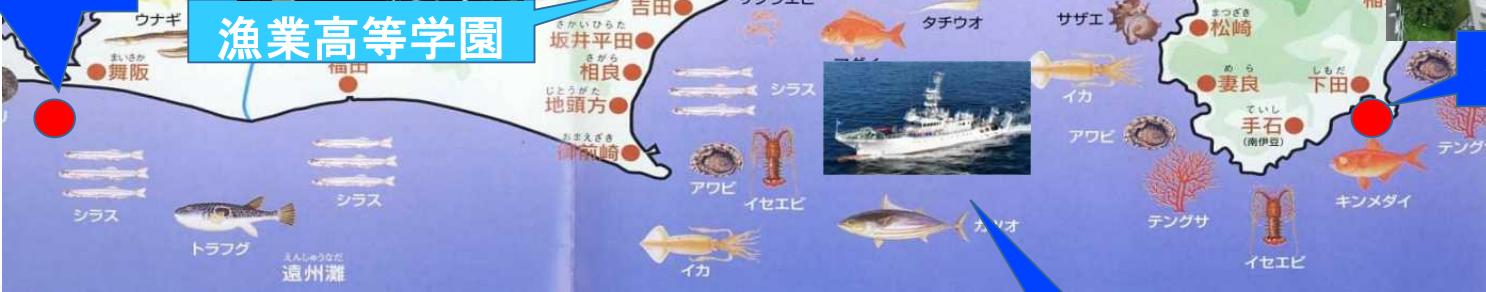


富士養鱒場



An aerial photograph of a wastewater treatment plant. The plant is a two-story building with a grey roof, situated next to several large, circular concrete tanks. A paved parking area with several white vehicles is in front of the building. The plant is surrounded by green trees and a small stream is visible on the left. A vertical scale bar and a north arrow are present in the bottom left corner of the image.

伊豆分場



県の水産施策と役割

目的	水産資源の持続的利用と水産業の振興を図る
主な取組	<ul style="list-style-type: none">・水産物の安定供給の確保・漁業の担い手の育成・豊かな漁村地域づくり・水産技術の研究・開発・普及指導等
支援対象 普及・啓発	<ul style="list-style-type: none">・漁業者、漁協、加工・流通業者(仲買・小売)・消費者(県民)、海洋レジャー関係者 ほか
連携・協働	国(省庁、研究機関)、市町、他県機関(行政、研究機関) 大学、水産関係団体、民間企業(営業、研究・開発部門)



静岡県の水産業の特徴

- ・変化に富む沿岸域(海岸線の総延長約650km)と黒潮の恵み
伊豆半島(岩礁域)、駿河湾(深さ日本一)、浜名湖(汽水域)
各地で特色ある多種多彩な漁業が営まれる
都市近郊の漁港から過疎・高齢化の漁村まで様々な地域特性
- ・漁業生産量は全国5位(2023年の生産量15.1万t、産出額540億円)
- ・遠洋漁業の水揚げ拠点＝焼津漁港(水揚金額日本一)
周辺に冷凍冷蔵施設や水産加工業が集積
- ・観光資源が豊富、2次・3次産業が元気



配属先と業務内容

66名(2024年10月現在)

区分	所属(水産職人数)	業務内容	キーワード
本庁 (行政)	水産振興課(7)	水産施策の企画調整、漁業就業者の確保育成、 水産物の消費拡大、水産流通加工への支援 深層水の利活用促進、水産研究の取りまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・予算 ・議会 調整力
	水産資源課(12)	資源管理・栽培漁業の推進、沿岸漁場の整備、漁業調整 漁業取締、漁船登録、内水面漁場の管理、養殖業の支援	
	マーケティング課(1)、地域産業課(1)		
出先機関	水産・海洋技術研究所 (計41) -本所(23) -伊豆分場(6) -富士養鱒場(5) -浜名湖分場(7)	研究開発(31) 漁業資源の評価・管理、海洋環境の把握・予測 磯根資源・浅海資源の増殖、海面・内水面の養殖 水産物利用加工、水域環境保全、深層水の利用 普及指導(10) 沿岸漁業者指導、漁業の担い手育成 地域水産業の振興、魚類防疫指導、技術情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・現場 体力 対話力
	漁業高等学園(2)	漁業後継者の養成のための教育	
	環境衛生科学研究所(水質、環境)(2)		

(参考)令和7年度の重点施策抜粋

水産業の魅力の増大	<ul style="list-style-type: none">・海業（うみぎょう）の振興 <u>（遊休施設の活用、観光業やレジャーとの連携）</u>・担い手の育成 <u>（漁師の養成学校（県立漁業高等学園）の運営等）</u>・漁協の経営改善に向けた指導・支援、施設整備への補助
新たな海洋産業の創造・育成	<ul style="list-style-type: none">・温水利用研究センター沼津分場の整備 <u>（県が保有する種苗生産施設の再整備）</u>・マリンバイオ産業の振興 <u>（関係機関と連携した海洋由来微生物ライブラリの維持・管理）</u>
海・川の恵みの持続的な利用の確保	<ul style="list-style-type: none">・水産業の未来づくりの推進 <u>（プラットフォームによる未来指向型での課題対応策を検討）</u>・アサリの資源回復 <u>（稚貝保護、食害防除、漁場整備など）</u>・磯焼け対策 <u>（伊豆・榛南地域の藻場再生に向けた種苗の生産、移植など）</u>
資源の維持・増大に向けた調査・研究の推進	<ul style="list-style-type: none">・T A C 制度による資源管理への対応 <u>（国が漁獲枠を設定した魚種の資源調査等）</u>・ノコギリガザミやキンメダイ等の資源回復に向け、大学等外部機関と連携して種苗生産技術を開発・資源評価や漁場予測の高精度化、調査船「駿河丸」を活用した調査や蓄積したビッグデータの分析



仕事風景(本庁)



清水港でまぐろ漁船の検査



静岡未来クリエイター

仕事風景(出先)

魚市場で水揚魚の測定



小学生対象に水産教室



海上いけすで
稚魚の育成

